

口は健康のもと Vol.67

疾患あっても大丈夫

全身疾患を有する患者さんが歯科を受診する際は以下のことにご注意ください。

薬剤や食物に対してアレルギーを有するか否かをお聞きします。これは、薬の処方や食事指導のときに役立ちます。もし、ご自分にアレルギーがあるかどうか分からないときは、ご家族のアレルギーの発症を問診でうかがうことがあります。

これは、アレルギーには遺伝的素因が関与することが多いためです。特に、喘息の患者さんでは発作の誘発因子を知ることが重要なため、喘息の治療薬を使用している方は事前にその旨をお知らせいただければ助かります。

高血圧症、脳梗塞、心筋梗塞などの心臓血管系疾患を持つ患者さんには、治療薬の種類と量および合併症についてお聞きします。歯科治療がきっかけで血圧が上昇したり、合併症が急性増悪を起こす可能性が高いためです。

歯科治療時には血圧の急激な変動が起きないように注意しますし、治療中はモニター管理で早期の異常発見に努めますのでご安心ください。



奥羽大学歯学部附属病院 予診科

教授 高橋 和 裕